



白鷹発 みらい・環境ニュース

美しい郷へGO!!

美しい郷発 第16号

平成23年1月24日発行

発行 白鷹町美しい郷づくり推進会議

環境ニュース部会

TEL 0238 (85) 6131

FAX 0238 (85) 5275

白鷹町 環境フォーラム

～ホテルを呼び戻そう最上川～

先着200名に
粗品贈呈

白鷹町の中心を流れる母なる川、最上川。

古くから生活や産業を支える重要な資源として、また、白鷹町の美しい景観にかかせない存在として、私達の暮らしに深く関わってきました。

このかけがいのない水環境を次世代に引き継いでいくために、支流で暮らす私達は今、何ができるか、何をすべきか、みなさんで考えてみませんか。

■日時 平成23年 2月13日 (日)

午後1時30分～4時

■会場 白鷹町文化交流センター「あゆーむ」

講演「水環境と暮らし」

講師：佐藤 五郎 氏 (米沢中央高等学校 副校長)

○活動紹介

白鷹町美しい郷づくり推進会議
「水環境部会」

○お楽しみ抽選

最後まで参加していただいた方に、
環境にやさしいグッズが当たります。

○主催 白鷹町美しい郷づくり推進会議 白鷹町

○後援 白鷹町衛生組合連合会 白鷹町女性の会
家庭にやさしい環境の会 白鷹町教育委員会



—問い合わせ先—

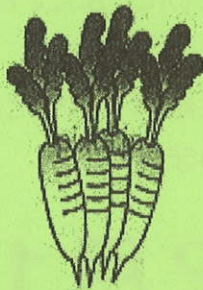
白鷹町美しい郷づくり推進会議 事務局 白鷹町役場 町民課暮らし環境係
(直通電話) 85-6131 (ファックス) 85-5275

台所からエコを考えてみよう

～鮎貝地区エコクッキング～

1月16日鮎貝のハーモニープラザで、エコクッキング教室が開かれ22名の方が参加されました。

パワーポイントをつかって、『台所からエコを考えてみよう』の講座からはじまり、買い物、調理、片付けなどのエコな方法を聞きました。そのあと“大根をまるごと使って”を4品作りしました。大根の首の甘い部分は、おろして“みぞれ椀”に、まん中の部分は“麻婆大根”に、しっぽの部分は“大根めし”、葉を使って、“大根葉のそぼろ”を作りしました。早くできたところは、大根の皮のしょうゆ漬けもつくりました。



ふだん大根は、おでんや味噌汁・つけものなどばかりなので、さっそく作って家族にごちそうしたいとの声も聞かれました。食事のあと、菊地館長より修行僧の無駄をはぶいた食事の話をお聞きしたあと、片付けもエコな方法で行いました。

1月28日には東根地区公民館で開催されます。食材はもちろん、ガスや水道などのエネルギーも無駄なく調理する“エコクッキング”みなさんもはじめてみましょう。



荒砥小プールへ

EM発酵液投入

荒砥小4年生59名が、課外授業としてEMを使ったプールの環境浄化に取り組みました。

10月19日児童の家庭から、ペットボトルに入れた米のとぎ汁を持ってきてもらい、EM米のとぎ汁発酵液づくりをしました。約1か月発酵させた11月17日、石川水環境部会長より『なぜプールにEM発酵液を投入するか』のお話をお聞きし、プールに発酵液260リットルを投入しました。荒砥小では、昨年5月にも発酵液を投入してプールの清掃をしており、今年も春が来てから清掃します。

荒砥小のほかにも荒砥保育園や蚕桑小、東中でもプールの浄化に取り組みました。発酵液を入れることで、洗剤を使用せず掃除できるだけでなく、時間も短縮でき効果が出るのが楽しみです。



地球温暖化で大雪・豪雨・低温に猛暑?

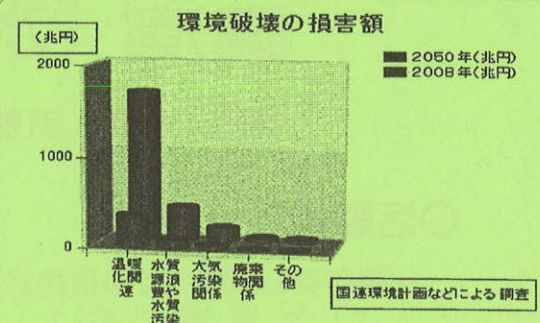
私たちに何ができるのか!!

今年の冬は西日本を中心とした大雪、昨年は記録的な猛暑のほか、オーストラリアの豪雨、インドでは大寒波で死者が100人以上とも報じられております。

また、12月31日付けの山形新聞に国連環境計画の研究班は、地球温暖化や大気汚染など、人間の活動が原因の環境破壊による2008年の損害額は約530兆円に上ると記されていました。

研究班は、過去の研究結果などを基に、現在の傾向が続けば、2050年の損害額は約2300兆円になると推定され、国連環境計画の研究班は「環境対策を放置することは今後の世界経済にとって大きなリスクになる」と警告しています。

そんな中、私たちが今すぐできる事は3R(スリーアール)を心がけることではないでしょうか。



3R(スリーアール)とは
 リデュース(ごみの発生抑制)
 リユース(再使用)
 リサイクル(ごみの再生)